



公益財団法人三鷹市スポーツと文化財団の シンボルマークが決まりました。

当財団は、芸術文化に加え、三鷹中央防災公園・元気創造プラザで、平成29年4月から新たにスポーツと生涯学習の事業を実施していきます。

そこで、新たな一歩を踏み出した財団のこれらの活動を象徴し、財団のイメージを高め、市民の皆様にも親しまれる財団の顔となるようなシンボルマークを制定することとしました。

シンボルマークを公募したところ、全国から89点の作品が寄せられ、厳正な審査の結果、最優秀賞を受賞した児島満さんの作品が、財団のシンボルマークに決定しました。

受賞者

◆最優秀賞 児島 満さん (50歳・男性)
宮崎県宮崎市在住
グラフィックデザイナー

◆優秀賞 門田和之さん (41歳・男性)
富山県射水市在住
イラストレーター

選定理由

- ・三鷹市の「M」とスポーツの躍動する姿や文化事業への挑戦と感動が見事にデザインされており、スポーツはもちろん、芸術文化や生涯学習の分野にもふさわしい。
- ・シンボルマークらしい安定感がある。
- ・緑色と橙色により、三鷹の豊かな緑と明日への希望がイメージされている。
- ・3色に配色されており、財団が担うスポーツ・芸術文化・生涯学習の三つの領域が象徴されている。

この新しいシンボルマークは、今後、財団の情報誌やチラシ、ウェブサイトなどで幅広く活用していきます。

チケットのお求め方法 ＊発売初日は10:00から電話とインターネットで受付し、窓口販売は翌日からとなります。

電話予約 三鷹市芸術文化センター **Tel: 0422-47-5122** (10:00～19:00)

窓口販売 販売場所 芸術文化センター / 三鷹市公会堂 (さんさん館) / 美術ギャラリー 受付時間 10:00～19:00
休館日 月曜日 (月曜日が休日の場合は開館し、休日を除く翌日・翌々日が休館)
＊美術ギャラリー臨時休館日 1/12 (木)、13 (金)、3/23 (木)～26 (日)

インターネット予約 (要事前登録)

パソコン <http://mitaka-art.jp/ticket> 携帯 <http://mitaka-art.jp/ticket-m> (座席自動採番)

ご予約後、チケット代金の郵便振込ができます

口座番号 (ゆうちょ銀行) 00190-5-569156 加入者名 三鷹市芸術文化センター

＊備え付けの「払込取扱票」をご利用の上、通信欄に(予約番号)をご記入ください。＊普通郵便の場合82円、簡易書留ご希望の場合392円を加算してお振り込みください。＊振込手数料はお客様のご負担になります。＊お振込後、10日程度でチケットをお届けします。



広告募集中

本冊子(7,000部発行)、新聞折込チラシ(10万部)の広告および当財団ウェブサイト・バナー広告を募集しております。詳細は0422-29-9868 (広報担当) へ。



twitter [@ArtsMitaka](https://twitter.com/ArtsMitaka)
フォローをお待ちしております!

音楽・演劇・美術・文芸

公益財団法人 三鷹市スポーツと文化財団 (マークル)

MARCL I33

Mitaka Arts Information January 2017



青木光行《福助》

2008年 象牙 横3.7×高さ4.2×奥行2.9 cm

根付 ～江戸と現代を結ぶ造形～展

1月14日(土)～3月20日(月・祝)
三鷹市美術ギャラリー ▶P1-2

柴 幸男 (劇団ままごと)

劇団ままごと「わたしの星」
高校生 CAST & STAFF 募集
みたかジュニア・オーケストラ
パフォーマンスキッズ・トーキョー

根付展ワークショップ

オーケストラ・リベラ・クラシカ
フランチェスコ・トリスターノ

東西狂言の会
CINEMA SPECIAL 男はつらいよ
第19作～第26作 連続上映

柳亭市馬
桃月庵白酒・三遊亭兼好 二人会
春風亭一之輔・古今亭文菊 二人会
桂 宮治・神田松之丞 二人会
寄席井心亭

根付～江戸と現代を結ぶ造形～展

山本有三記念館スケッチコンテスト
企画展示予告 もの語りの始めかた
太宰治作品朗読会



根付と現代を結ぶ造形



2



3



1



4



5

根付は、印籠や巾着などの持ち物を携帯する際に紐の先端に付け、帯にくぐらせ留具として用いる小さな彫刻（細工物）です。ポケットがない和装の時代には日常的な実用品であった根付ですが、意匠や細工が次第に洗練され、庶民文化が成熟する江戸後期に全盛期を迎えます。裕福な町人は素材の贅沢さや技巧の精密さ、洒脱で機知に富む意匠を競い合い、根付は装飾品であると同時にコレクターズアイテムとしての性格を強めていきます。しかし明治以降洋装化とともにその需要は衰え、欧米人によって美術工芸品として新たな価値を見いだされた根付は、その多くが海外へ流出しました。

こうして国内から消えてゆくかに見えた根付ですが、主に海外向けの輸出工芸品として存続し、戦後は研究会の発足や展覧会の開催など根付を再評価する動きが盛んになります。1970年代には作り手の側で大きな意識改革がおこり、伝統的な根付のコピーを制作する職人から、オリジナルな発想で独自の個性を発揮する芸術家へと移行していきます。

本展覧会では、「京都 清宗根付館」が所蔵する江戸から近代にかけての伝統的な根付と現代根付約300点をご紹介します。新しい素材や現代性を盛り込みながら今も息づくその魅力と、江戸と現代をつなぐ造形の妙をご堪能ください。

●古根付・近代根付 約60点、現代根付（印籠含）約245点

根付

～江戸と現代を結ぶ造形～ 展

1月14日（土）～3月20日（月・祝）

会場 三鷹市美術ギャラリー Tel: 0422-79-0033
三鷹市下連雀3-35-1 *JR三鷹駅（南口）前 CORAL5階

開館時間：10:00～20:00（入館は19:30まで）

休館日：月曜日（3/20は開館）

観覧料：会員480円 / 一般600円 /
65歳以上・学生（大・高）300円

*中学生以下および障害者手帳等をお持ちの方は無料

協力：（公財）京都 清宗根付館



- 1: 宮澤良舟（三代）《綱渡り》2012年 象牙 3.3×4×2.9
- 2: 黒岩 明《太陽系四次元》1998年 エポキシ樹脂・漆・銀 4×4×3.7
- 3: 穴戸清雲《蛙道風》2012年 黄楊 3.4×6.2×2.4
- 4: 針谷綱代《花籠》2011年 象牙・漆・金粉 3.2×2.3×2.5
- 5: 落合 雅《パブリカ》2007年 象牙 3.7×2.5×3
- 6: 三輪《ひよっとこおどり》江戸時代 木・象牙 1.5×3×3.3
- 7: 桑原 仁《甲羅洗ひ》2011年 鹿角・ベッ甲・へこ・白蝶貝 3.6×4×2.1
- 8: 栗田元正《水棲の理》2011年 鹿角・シャム柿・貝・銀 2.5×3.6×2.1

[サイズ表記 横×高さ×奥行(cm)]

関連プログラム

出品作家による ギャラリーツアー

作家・日時（各日40分程度を予定）

●及川空観（根付アーティスト）

1月28日（土）11:00～

3月11日（土）11:00～

●黒岩明（現代根付作家・国際根付彫刻会会長）

2月11日（土・祝）11:00～

会場 三鷹市美術ギャラリー展示室

参加費無料 *観覧料が必要です。

当日、直接会場へお越しください。

出品作家による トークイベント

「当世根付師勢揃
～古くて新しい根付の魅力発見～」

進行：及川空観

参加：伊多呂、栗田元正、和地一風

*三鷹ネットワーク大学共催

2月26日（日）14:00～

会場 三鷹ネットワーク大学
（三鷹市下連雀3-24-3 三鷹駅前協同ビル3階）
*展覧会場とは異なります。

参加費無料 定員：70人

申込方法：三鷹市美術ギャラリー
（0422-79-0033）
へ電話予約（先着順）

ワークショップ

こどもアートクラブ 「ひみつのポケットボックス」

3月4日（土）10:30～15:30

会場 三鷹市美術ギャラリー、
三鷹市芸術文化センター

対象・定員：小学生20人 参加費：2,000円

応募締切：2月21日（火）必着

応募者多数の場合抽選

*内容、申込方法などの詳細は
財団ウェブサイトをご覧ください。
<http://mitaka.jpn.org/ticket/workshop/>



interview 〈インタビュー〉

柴 幸男 (劇団ままごと)

“演劇を思いっきりする”ということだけに
集中できる環境を用意して、
高校生の皆さんと、一緒に頑張っていきたいと思います。
ぜひ、チャレンジしてみてください!

2014年8月に星のホールで初演された『わたしの星』は、オーディションに合格した10人の高校生のみがCASTとして出演し、STAFFも、面談などを経て、プロの指導のもと、高校生5人が可能な限り携わった舞台として上演され、フレッシュで、完成度の高い舞台が創出されました。

今回、その『わたしの星』を今年の8月に再演するにあたり、高校生向けのワークショップ、そしてオーディションの開催を控えた柴幸男さんに、お話をうかがいました。

まずは、柴さんの『わたしの星』再演に寄せる
気持ちを教えてください。

★ 『わたしの星』は、いつかまた、高校生たちと一緒に作ってみたいと思っていましたので、再演が決まった時は嬉しかったですね。作品内容は、すごく大きく変えることはないと思いますが、演出的な面とか、いろいろ更に面白くすることができるのではないかとアイデアも湧いてきているので、新しい高校生との出会いにより、どんな作品を生み出すことができるか、とてもワクワクしています。

前回のCASTは「女子9人に、男子1人」という
組み合わせでしたが、今回はいかがですか?

★ オーディションに来てくれた高校生の個性を見ながら考えていきたいので、前回の人数構成にはこだわらず、変えてもいいと思っています。あくまでも“誰とお芝居を作るのか”に尽きます。男女比もそうだし、人数も。だから12人になったり、8人になったりするかもしれませんし、大逆転して男子校の話になるかもしれません(笑)。

では「まずは、ワークショップを体験してみようかな」と
思っている高校生の皆さんに、メッセージを
お願いします。

★ 演劇経験とかは一切気にしないでほしいです。部活で全く違うことをやっていたり、普段何もしていなくて帰宅部という人でも大歓迎です。“ちょっと遊びに行ってみるか”という気持ちでもいいので、ぜひ参加してほしいです。そして参加した後で、もしも「出演してみたい」と思ったらオーディションを受けてほしいし、(オーディションに)申し込まなかったとしても、夏になったら、同じ高校生たちがどんなふうに舞台上に立っているのか、見に来てもらえたらと思います。

次に、「オーディションに参加しよう」と思っている
高校生に、メッセージをお願いします。

★ 舞台上での人と人とのコミュニケーションだったり、お互いの呼吸だったりを重視しているので、それは難しさも伴うんですけど、その難しさも楽しんでみるという体験をしてもらえたらと思います。そして、前回の公演でも、合格者の中に“お芝居経験がない”

という人が何人もいましたから、オーディションにおいても、過去の演技経験などは一切気にせずチャレンジしてほしいです。もちろん、将来的に役者を目指していたり、演劇の世界にもっと触れたいと思っている人にはぜひ申し込んでもらいたいですね。そういった人は、オーディションに参加することで、本気で演劇に取り組んでいる同世代がこんなにいるんだと、大きな刺激をもらえるのではないかと思います。

オーディションに合格した高校生たちとは、4月の
顔合わせを経て、5月から稽古が始まります。
どんな日々になりたいとお考えですか?

★ 演劇をするということに対して、僕ができる限りの、最高のセッティングをするということ、すなわち“演劇を思いっきりする”ということだけに集中できる環境を用意して、一緒に頑張っていきたいと思っています。ですから稽古中に、高校生自身が演劇的にトライしたいと思うことや、クリアしていきたいことなどがあれば、それを実現できるようにしていけたらと思います。



そして今回も、「高校生スタッフ」を募集しますね。

★ 前回、高校生スタッフには、稽古中、そして本番中も、いろいろな仕事をしてもらったのですが、特に「稽古*」の記録を毎日作ってもらう作業をもらって、それは非常に有意義でしたし、高校生スタッフとの共同作業は、想像以上に楽しかったです。その上で、今回は演出部と制作部の2つに分けての募集です。まず演出部は、僕と一緒に舞台を作っていけたらと思います。台本を書くのが好きだという人には、実際にセリフを書いてきてもらって、僕と意見を出し合いながら台本を作っていけたらということも考えています。また、制作部は、劇場でお客様に対応していくとはどういうことか、そのすべてを感じ取ってもらえたらと思います。将来的に劇団で働きたいとか、劇場で働きたいとか思っている人には、とてもいい経験になると思います。高校生でプロの演劇の現場を、制作として実際に体験する機会は少ないのではないかと思いますので、興味があったらぜひ申し込んでみてください。こちら、経験の有無は問いません。

それでは、最後にもう一度、
高校生の皆さんにメッセージをお願いします。

★ できるだけたくさんの人と会いたいと思いますし、参加してくれるのを本当に待っています。僕自身、「演劇に関わりたい」と思っている若い人たちに会いたい」と思ってこの企画をやっているの、力の限り頑張りますので、ワークショップだけでも、オーディションだけでも、そしてもちろん両方でも、とにかく待っています。ぜひチャレンジしてください!

(10月28日 三鷹市芸術文化センターにてインタビュー)

*前回公演の稽古記録は、こちらのサイトに掲載されています。 <http://mamagoto-my-planet.tumblr.com/>

劇団ままごと『わたしの星』

8月17日(木)~27日(日) 全12公演

チケット発売日 6月下旬(予定)

	8/17木	18金	19土	20日	21月	22火	23水	24木	25金	26土	27日
14:00	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
19:30	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●



©青木 司

ここで紹介しきれなかった
インタビューの全文は、
財団ウェブサイトにも
掲載しております。

『わたしの星』募集の詳細は次のページ ➡

劇団ままごと、柴幸男作・演出『わたしの星』

高校生*対象ワークショップ参加者募集! &
『わたしの星』高校生*CAST&STAFF 募集!

2014年8月に初演され、高校生のみCAST10人の出演と、高校生STAFF5人の参加で、大きな話題を呼んだ『わたしの星』(http://www.mamagoto.org/watashi-hoshi.html) 本公演を、2017年8月17日(木)～27日(日)に再演するにあたり、『高校生CASTオーディション&STAFF 募集』を行います。またオーディションに先駆けて、柴幸男による高校生向けワークショップも併せて開催いたします。みなさんのご応募を心よりお待ちしております!

*ワークショップに参加しない
『わたしの星』に参加できないということはありません。

要項: A B C 共通

会場: 三鷹市芸術文化センター

応募資格: 2017年4月1日に15歳～17歳の方

応募書類: 当財団のウェブサイトから所定用紙をダウンロードしてください。

書類送付先

〒181-0012 東京都三鷹市上連雀6-12-14

三鷹市芸術文化センター

ままごと『わたしの星』担当者宛

A 高校生向け演劇ワークショップ募集要項

日程: ★2月11日(土・祝) 13:30～16:30

★2月11日(土・祝) 18:00～21:00

★2月12日(日) 9:30～12:30

★2月12日(日) 13:30～16:30

*参加してもらうのはいずれか1回のみです。
ワークショップの内容は4回とも同じです。

募集人数: 各回20人(応募者多数の場合は抽選)

参加費: 500円 応募締切: 1月31日(火) 消印有効

★CAST稽古 & STAFF参加日程

■4月23日(日) 顔合わせ

■5月中旬～7月中旬

週1・2回(土・日・祝) 10:00～18:00(予定)

■7月20日(木) 以降

ほぼ連日稽古 10:00～18:00(予定)

■8月8日(火)～16日(水) 劇場リハーサル

■8月17日(木)～27日(日) 本番

*稽古場所は三鷹市芸術文化センターおよび三鷹市内稽古場を予定。

*CASTは劇場リハーサル期間および

本番においては全日程参加が応募条件となります。

*STAFFは全日程参加が必須ではありません。

*高校生＝
2017年4月1日に
15歳～17歳の方

B『わたしの星』高校生CASTオーディション

日程: 〈第1次〉★3月28日(火) 9:30～17:30

★3月29日(水) 9:30～17:30

*参加していただくのは、どちらか1日のみです。

*1次の可否は、当日、その場で発表します。

〈第2次〉3月30日(木) 9:30～17:30

*2次の可否は、当日、その場で発表します。

〈第3次・面接〉★3月31日(金) 9:30～17:00

★4月1日(土) 13:30～17:00

*参加していただくのはどちらか1日の1時間程度です。

*可否結果は4月10日までに投函します。

募集人数: 10人程度(未経験者もOK) 参加費: 無料

応募締切: 3月3日(金) 消印有効

C『わたしの星』高校生STAFF 募集

劇団ままごとの助手を募集します。裏方として一緒にお芝居を作っていくスタッフです。「劇作演出部門」「運営部門」の2コースです。

審査方法: 書類審査 & 作文 & 面接

面接日: 4月2日(日) 9:30～17:00 *書類審査通過者のみ実施

*面接は1人あたり1時間程度です。 *可否結果は4月10日までに投函します。

募集人数: 5人程度(未経験者もOK) 参加費: 無料

応募締切: 3月3日(金) 消印有効

初演の参加者からのコメント

「わたしの星」は私にたくさんの出会いを与えてくれました。家族みたいに暖かいままごとの方々、一生の仲間、ずっと忘れない思い出。そして作品を通して今後も演劇に関わっていきたいと思い、私は美大に入りました。だから今の私がいるのはこの作品のおかげです。一生忘れられない最高の夏になります。勇気を持って応募してみてください!

(『わたしの星』初演 元高校生キャスト・アカネ役・坂本彩音)

見えなかったものが目の前で形になる。2014年の夏、舞台を作ることへのほんの少しの興味だけで『わたしの星』へ足を踏み入れた私は、いつの間にか幕の間から見る舞台そして舞台を作り上げることに夢になっていました。貴方も、この夏を少し特別なものにしてみませんか?

(『わたしの星』初演 元高校生スタッフ・新井悠里)

5月3日(水・祝) 14:00開演

チケット発売日 会員1月22日(日)/一般1月29日(日)

全席指定 会員3,600円/一般4,000円
高校生以下2,000円

託児あり *未就学児は入場できません。

棒縛 [ぼうしぼり]

二人の家来が、留守番中に酒蔵の酒を盗み飲んでいたら主人は、太郎冠者を棒に、次郎冠者を後ろ手に縛って出かけてしまう。それでも酒が飲みたい二人は知恵を絞り、縛られたまま酒を飲むことに成功するが…。

撮影: 政川慎治

棒縛
しぼり

太郎冠者 野村万作

次郎冠者 野村

遼聡太史

骨皮
かわ

新発意 野村萬斎

〃〃 檀家 住持 中月竹石 村崎山田

修晴悠幸 一夫樹雄

佐渡狐
ぎつね

奏者 茂山千作

越後の百姓 佐渡の百姓 茂山千五郎 茂

解説 高野和憲

骨皮 [ほねかわ]

寺を譲られることになった新発意(仏門に入って間もない者)は、住持(住職)に「檀家を大事にせよ」と諭され、傘を借りに来た男に新品を貸してしまう。住持はそのような時のうまい断り方を教え、たしなめるのだが…。

撮影: 政川慎治

佐渡狐 [さどぎつね]

年貢を納めに都へ上る途中で道連れになった佐渡と越後の百姓。佐渡に狐のいるいないを巡り賭けをするようになったが、実は佐渡に狐はおらず、狐を知らない佐渡のお百姓は…。

撮影: 川上良一

東西狂言の会

狂言舞台の配置と客席図、および、客席からの舞台の見え方(写真)を、財団ウェブサイト「東西狂言の会」のページに掲載しております。

男はつらいよ

第19作・第26作
連続上映

各回2本立て / 昼夜入替制 / 1本目と2本目の間に、約30分間の休憩あり。

全公演 昼の部 11:00 / 夜の部 16:00 上映開始 ※未就学児は入場できません。

全席指定 各回 会員900円 / 一般1,000円 / 学生800円 協力：松竹株式会社

チケット
発売中! 1月28日(土)



第19作

©1977 松竹株式会社

『男はつらいよ 寅次郎と殿様』

(1977年 / 99分 / カラー / 松竹) **ロケ地：愛媛県大洲市**

原作・監督：山田洋次

脚本：山田洋次、朝間義隆

出演：渥美清、真野響子(マドンナ)、嵐寛寿郎、三木のり平



【マドンナ】
真野響子

ふとしたきっかけで、世が世なら伊予の国のお殿様であった老人と出会い、すっかり意気投合した寅さん。聞けば、その昔、勘当同然で追出した次男が亡くなってしまったことを悔い、未亡人となった次男の嫁に、ひと目会って詫言いたいと願っていて……。嵐寛寿郎、三木のり平、渥美清。いずれ劣らぬ芸の達人たちが繰り広げる演技合戦は片時も目を離せない素晴らしいものであり、まさに圧巻の一言である。



第20作

©1977 松竹株式会社

『男はつらいよ 寅次郎頑張れ!』

(1977年 / 95分 / カラー / 松竹) **ロケ地：長崎県平戸市**

原作・監督：山田洋次

脚本：山田洋次、朝間義隆

出演：渥美清、藤村志保(マドンナ)、中村雅俊、大竹しのぶ



【マドンナ】
藤村志保

久しぶりに柴又に戻った寅さんは、知らぬ間に「とらや」の二階に下宿していた青年(中村雅俊)と一悶着起こすも、いつしか彼をたいそう気に入り、酒を飲み交わす仲に。やがて彼が、近所の定食屋で働く看板娘・幸子(大竹しのぶ)にぞっこんだと知った寅さんは、恋の指南役を買って出るが……。いつも以上の大騒動の果てに、青年の故郷、長崎は平戸を訪れた寅さんは、彼の姉・藤子(藤村志保)に一目惚れするのだった。

2月25日(土)

チケット発売日 会員1月26日(木) / 一般1月27日(金)



第21作

©1978 松竹株式会社



【マドンナ】
木の実ナナ

『男はつらいよ 寅次郎わが道をゆく』

(1978年 / 107分 / カラー / 松竹)

ロケ地：熊本県阿蘇郡南小国町・田の原温泉

原作・監督：山田洋次 脚本：山田洋次、朝間義隆

出演：渥美清、木の実ナナ(マドンナ)、武田鉄矢、竜雷太

旅先の熊本で、女性にフラれて落ち込んでいる地元の青年・留吉(武田鉄矢)と出会い、大真面目に「人の道」を説く寅さんだったが、一晩明けると立派なお説教はどこへやら、財布の中身は寂しく、妹さくらに迎えに来てもらう羽目に。やがて柴又に戻った寅さんは、幼馴染の奈々子(木の実ナナ)と再会。彼女がSKD(松竹少女歌劇)のトップダンサーになっていることを知り、劇場に通い詰め始める……。



第22作

©1978 松竹株式会社

『男はつらいよ 噂の寅次郎』

(1978年 / 104分 / カラー / 松竹)

ロケ地：長野県木曽福島町、静岡県川根本町

原作・監督：山田洋次 脚本：山田洋次、朝間義隆

出演：渥美清、大原麗子(マドンナ)、室田日出男、志村喬

旅の空の下、妹さくらの亭主「博」の父親・諏訪颯一郎(志村喬)と、偶然再会した寅さん。その夜の宿で颯一郎から聞いた「今昔物語」の一節に感化され、急いで柴又へ帰ると、皆の前で「『聞き齧りの』今昔物語」を語り、「明朝9時に修行の旅に出ます」と告げたから、一同呆然。しかし翌朝、まさに修行の旅に出ようとしたその時、その日から「とらや」で働く早苗(大原麗子)と会ってしまった寅さんは……。

3月25日(土)

チケット発売日 会員2月23日(木) / 一般2月24日(金)



第23作

©1979 松竹株式会社



【マドンナ】
桃井かおり

『男はつらいよ 翔んでる寅次郎』

(1979年 / 107分 / カラー / 松竹)

ロケ地：北海道千歳市・支笏湖

原作・監督：山田洋次 脚本：山田洋次、朝間義隆

出演：渥美清、桃井かおり(マドンナ)、布施明、小暮実千代



北海道の温泉地近くの山道で、車で一人旅をしていた若い娘(桃井かおり)の窮地を助けてやった寅さん。旅は道連れと相成り、問わず語りに娘の話を開けば、実はもうすぐ結婚式を挙げるのだが、どうしても気持ちの整理がつかないらしく、完全にマリッジブルーの心持ち。そんな娘の気持ちを察した寅さんは、彼女を優しく諭し、その話に明るく頷いた娘は東京に戻る。しかし、結婚式の当日、彼女は……。

4月15日(土)

チケット発売日 会員3月23日(木) / 一般3月24日(金)



第25作

©1980 松竹株式会社



【マドンナ】
浅丘ルリ子

『男はつらいよ 寅次郎ハイビスカスの花』

(1980年 / 104分 / カラー / 松竹)

ロケ地：沖縄県那覇市・金武町・国頭郡本部町

原作・監督：山田洋次 脚本：山田洋次、朝間義隆

出演：渥美清、浅丘ルリ子(マドンナ)、江藤潤、津嘉山正種



『男はつらいよ』のマドンナ多しと言っても、寅さんと結ばれるはずだった、いや、多くの観客がそれを望み続けたマドンナと言えば、この人“リリー”。第11作『寅次郎忘れな草』で出会い、第15作『寅次郎相合い傘』で心を寄せあいつつも離れた二人の物語は、この『寅次郎ハイビスカスの花』で、息を呑むほどの切なさに昇華していく。一瞬も目を離せない“寅さんとリリーの心の行方”を、ぜひ、スクリーンで。

昼の部 夜の部

男はつらいよ 翔んでる寅次郎 11:00-12:47 16:00-17:47
男はつらいよ 寅次郎春の夢 13:25-15:09 18:25-20:09



第24作

©1979 松竹株式会社



【マドンナ】
香川京子

『男はつらいよ 寅次郎春の夢』

(1979年 / 104分 / カラー / 松竹)

ロケ地：和歌山県和歌山市、アリゾナ(アメリカ)

原作・監督：山田洋次

脚本：山田洋次、朝間義隆、栗山富夫、レナード・シュレイダー

出演：渥美清、香川京子(マドンナ)、ハーブ・エデルマン、林寛子

帝釈天の境内で座り込んでいる外国人を見つけ、話しかけた御前様。しかし英語がさっぱり判らず、困り果てた末に「とらや」まで彼を連れて来るが、誰も英語は話せず、混乱は深まるばかり。けれどその時、偶然その場にいた、さくらの息子が通う英語塾の先生の母親(香川京子)が英語で話し始め、彼が宿を探していると判る。やがて御前様の発案で、「空いている、寅さんの部屋」に下宿させることになるのだが……。



昼の部 夜の部

男はつらいよ 寅次郎ハイビスカスの花 11:00-12:44 16:00-17:44
男はつらいよ 寅次郎かもめ歌 13:20-14:58 18:20-19:58



第26作

©1980 松竹株式会社



【マドンナ】
伊藤蘭

『男はつらいよ 寅次郎かもめ歌』

(1980年 / 98分 / カラー / 松竹)

ロケ地：北海道江差町・奥尻島、徳島県鳴門市

原作・監督：山田洋次 脚本：山田洋次、朝間義隆

出演：渥美清、伊藤蘭(マドンナ)、村田雄浩、松村達雄

稼業仲間が死んだと耳にした寅さんは、墓参りにと、北海道は奥尻島へと渡り、そこで、仲間の忘れ形見である、一人娘の“すみれ”(伊藤蘭)と出会う。苦労ばかりを背負って生きてきた娘から、「東京に出て、働きながら定制制高校に通いたい」という夢を聞かされた寅さんは、その気持ちにほだされ、娘を「とらや」に連れて帰る。やがて、彼女の就職や進学のために奔走し、何かと世話を焼く寅さんだったが……。



●次号『MARCL134』(4月初旬発行予定)にて発売の映画企画 『三回忌・原節子』5月～2018年3月



撮影：御堂義典

花咲く春の、陽射しのこころ
あたたかな語り、市馬の落語

柳亭市馬 独演会

4月16日(日) 14:00開演

チケット発売日 会員2月4日(土)/一般2月8日(水)

全席指定 会員2,700円/一般3,000円
学生2,000円/高校生以下1,000円

託児あり ※未就学児は入場できません。

通を唸らせつつ、落語は初めてという方にもお勧めしたい、
落語の魅力を存分に味わえる高座が、市馬師匠の魅力です。
まさに、花咲く春の陽射しのごとく、あたたかさに満ちた、
市馬師匠の懐の広い語りを、ごゆっくりお楽しみください。

出演:柳亭市馬、柳家小菊(粹曲)、ほか

桃月庵白酒 三遊亭兼好 二人会



桃月庵白酒



三遊亭兼好

春爛漫と、咲き競う
粋な両雄、揃い踏み

4月22日(土) 14:00開演

チケット発売日 会員2月4日(土)/一般2月8日(水)

全席指定 会員2,700円/一般3,000円
学生2,000円/高校生以下1,000円

託児あり ※未就学児は入場できません。

今、乗りに乗る実力派二人が、今年も三鷹で競演です。
力みの無い語り口から、時折こぼれ落ちる毒が堪らない桃月庵白酒と、
鋭い観察眼で世相を捉え、鮮やかな口跡で観客を魅了する三遊亭兼好。
まさに両雄揃い踏みの二人会を、じっくりたっぷり、ご堪能ください。

番組
桃月庵白酒
三遊亭兼好
桃月庵白酒
三遊亭兼好
桃月庵白酒
三遊亭兼好
お囃子 恩田たけし 中

予告
次号『MARCL134』
[4月初旬発行]
にて発売予定の
主な落語公演

●柳家さん喬独演会	6月24日(土)	14:00/18:00	星のホール
●立川志らく独演会	7月8日(土)	14:00/18:00	星のホール
●柳家喬太郎のこども寄席	7月9日(日)	11:00/14:00	星のホール
●柳家喬太郎みたか勉強会	7月15日(土)	14:00/18:00	星のホール
●古今亭菊之丞独演会	7月23日(日)	14:00	星のホール

(ほか)

©キッチンミノル



春風亭一之輔



古今亭文菊

春風亭一之輔 古今亭文菊 二人会

5月14日(日) 14:00開演

チケット発売日 会員2月5日(日)/一般2月9日(木)

全席指定 会員2,700円/一般3,000円
学生2,000円/高校生以下1,000円

託児あり ※未就学児は入場できません。

ますます注目を集める、華の若手二人が、今年も競演です。
淀みの無い力強い語り口で、観客を魅了する春風亭一之輔と、
軸のふれない落ち着いた高座で、江戸の風を運ぶ古今亭文菊。
今、最も目の離せない二人の高座を、存分に、お楽しみください。

番組
春風亭一之輔
古今亭文菊
春風亭一之輔
古今亭文菊
お囃子 恩田たけし 中



落語 桂宮治



落語 神田松之丞

桂宮治 神田松之丞 二人会

6月11日(日) 14:00開演

チケット発売日 会員2月5日(日)/一般2月9日(木)

全席指定 会員2,250円/一般2,500円
学生1,500円/高校生以下1,000円

託児あり ※未就学児は入場できません。

落語と講談の“今”を、全力で疾走し続ける精鋭二人が、再び相まみえます。
もはや、その勢いは誰にも止められない、落語界の新星! 桂宮治!
講談の大地を一心に切り開く、不世出のトップランナー! 神田松之丞!
落語と講談、それぞれの持ち味全開で、火花を散らす二人会。お見逃しなく!

番組
桂宮治
神田松之丞
桂宮治
神田松之丞
お囃子 恩田たけし 中



利益の発生するチケットの
転売を禁止いたします

インターネットオークションや金券ショップ等における、利益の発生する
チケットの転売は、いかなる理由においても固くお断りいたします。



数えて二百六十三夜・卯月

空山志らく

4月26日(水) 19:00開演 予約1回 4枚まで

チケット発売日 会員1月24日(火)/一般1月25日(水)



数えて二百六十四夜・皀月

柳家花緑

5月10日(水) 19:00開演 予約1回 4枚まで

チケット発売日 会員2月21日(火)/一般2月22日(水)



数えて二百六十五夜・皀月

林家たい平

5月31日(水) 19:00開演 予約1回 4枚まで

チケット発売日 会員3月7日(火)/一般3月8日(水)

会場 みたか井心亭 三鷹市下連雀2-10-48 *JR三鷹駅南口より徒歩15分。

全席座席自由 各回 会員1,800円/一般2,000円/学生1,000円

*寄席井心亭では電話とインターネット(パソコン・携帯)での発売枚数の割合を50%ずつとさせていただきます。(会員発売日は各45枚ずつとなります)

毎回必ず独演会

寄席井心亭

座布団百枚のお座敷で聴く、生声での落語が魅力の寄席井心亭。ご雇員の方も、初めてという方も、ぜひ足をお運びくださいませ。



パフォーマンスキッズ・トーキョー ダンス公演

ザ・スダッティングタイムス

2月26日(日) 14:00開演 (13:00受付/13:30開場)

全席自由 入場無料 (入場は当日受付順) *未就学児入場可

小学生の子どもたちが、
振付家・ダンサーの平原慎太郎とのワークショップで
つくりあげたオリジナルの舞台作品。
身体と頭をフルに使って、“巣立ち”のダンスを踊ります!

出演 ©仙道美穂子

小学3～6年生の子どもたち

構成・振付

平原慎太郎
(振付家・ダンサー)

©Saki Matsumura

【FAX】03-5961-5738 (芸術家と子どもたち)

件名「三鷹市公会堂観覧希望」、以下5項目をご記入の上、送信してください。

①お名前/ふりがな(複数人でご観覧の場合は代表者のお名前)、②観覧人数(大人・子ども別に人数をお知らせください。)、③電話番号、
④受付確認の連絡先(FAX番号)、⑤今後のイベント案内を希望する場合のみ、住所(郵便番号・マンション名含む)

【HP】以下のサイトにアクセスして予約専用フォームからお申し込みください。

http://www.children-art.net/pkt-mitaka2016-kanran/ (芸術家と子どもたち)

*お申込み後、1週間以内に受付確認のご連絡をいたします。返信のない場合は下記までお問合せください。

*2/23(木)以降のお問い合わせ・お申し込みは TEL: 070-5455-5626 にご連絡ください。

問合せ NPO法人 芸術家と子どもたち Tel: 03-5961-5737 HP: http://www.children-art.net/

【主催】アートカウンシル東京(公益財団法人東京都歴史文化財団)、
特定非営利活動法人芸術家と子どもたち、公益財団法人三鷹市スポーツと文化財団

【助成・協力】東京都
【後援】三鷹市教育委員会

オーケストラ・リベラ・クラシカ 第39回定期演奏会

指揮: 鈴木秀美

ヴァイオリン独奏: 佐藤俊介

管弦楽: オーケストラ・リベラ・クラシカ

主催: オーケストラ・リベラ・クラシカ

共催: 公益財団法人三鷹市スポーツと文化財団

鈴木秀美
(指揮)
©S. Ejima

オーケストラ・リベラ・クラシカ(管弦楽)

©K.Mura

6月24日(土) 15:00開演 全席指定

チケット発売日 会員・一般3月9日(木)

会員: A席シングル4,900円/A席複数*1席当たり4,500円

B席シングル4,100円/B席複数*1席当たり4,000円

一般: A席シングル6,000円/A席複数*1席当たり5,500円

B席シングル5,000円/B席複数*1席当たり4,500円

U/U席2,000円(中学生以上25歳以下はエリア限定・70歳以上はどのエリアでも可)

子供券*2,000円

*子供券: 小学生以下 会員・一般のご購入者と同伴の場合のみ

*複数券(同時に2枚以上購入の場合)の取扱いは、

窓口販売・電話予約のみとさせていただきます。

*U/U席ご利用の中学生以上の方は公演当日に身分証明書をご持参ください。

佐藤俊介
(ヴァイオリン独奏)
©Sakai Koki

曲目

エディエンヌ=ニコラ・メユール:
歌劇『ストラトニーケ』序曲ベートーヴェン:
ヴァイオリン協奏曲二長調op.61ハイドン:
交響曲第94番ト長調HobI.94『驚愕』

オランダを拠点に古楽、モダン双方で縦横無尽な活躍を続けるヴァイオリンの才人佐藤俊介をソリストに迎え、ベートーヴェン不朽の名曲ヴァイオリン協奏曲を演奏します。数あるヴァイオリン協奏曲の中でも際立って演奏頻度が高い作品の一つですが、オリジナル楽器での演奏となるとなかなか実演に触れる機会はありまませんので、今回のように名手による演奏は聴き逃せません。鈴木秀美が厚い信頼を寄せる佐藤俊介とオーケストラ・リベラ・クラシカ(以下、「OLC」とは過去に2度共演しており、息のあったアンサンブルが期待されます。

その協奏曲に先立ち、公演冒頭にはベートーヴェンの協奏曲初演時に演奏されたのと同じメユール作曲の作品を演奏するという、こだわりの選曲も加えました。

後半に演奏するハイドンの交響曲第94番『驚愕』は、「びっくりシンフォニー」としておそらくハイドンの全作品の中でも最も有名な作品です。2016年6月の風のホールでの公演からスタートしたハイドンの「ロンドン・セット」演奏の2曲目となります。結成以来ハイドンの交響曲を演目の主軸に据えてきて、すでに107曲の全交響曲の中50曲あまりを演奏している鈴木秀美・OLCによる極めつきの演奏をお届けします。

リハーサル見学会

本公演の前日に行われるリハーサルの一部をご覧いただく見学会を開催します。

6月23日(金) 16:00-17:00

定員: 200人 要予約: Tel: 0422-47-5122

【受付開始日】会員・一般3月9日(木)

【参加方法】本公演のチケット持参の方は無料。
見学会のみご希望の場合は、
当日500円をいただきます。

無限のイマジネーションから生まれる、
新時代の「ゴルトベルク」

フランチェスコ・ トリスターノ ピアノ・リサイタル

J.S.バッハ：ゴルトベルク変奏曲

7月9日(日) 14:00 開演  託児あり

チケット発売日 会員 1月26日(木) / 一般 2月2日(木)

全席指定 会員 S席 4,050円・A席 3,150円

一般 S席 4,500円・A席 3,500円

*U-23(23歳以下/S席・A席共通) 2,500円

※未就学児は入場できません。

♪曲目

J.S.バッハ：ゴルトベルク変奏曲 BWV988

ほか

©Aymeric Giraudel

風のホールに初登場した2014年にはバッハと自作を並べたプログラムを、また2016年再登場時には、バロック音楽に見られるオスティナート・バス(一定の音型を何度も繰り返す低音主題)に着目。バロック音楽もミナル・テクノもループを用いたダンス・ミュージックであると捉え、自作曲とあわせてイタリアのフレスコバルディ、ドイツのブクステフーデのチェンバロ曲、オルガン曲を取り上げて、数百年の時空を超える壮大なサウンド・トリップを試みたフランチェスコ・トリスターノ。

今回満を持して演奏する作品は、バッハの「ゴルトベルク変奏曲」です。主題のアリアで始まり、30の変奏を経てアリアが再現されるこの作品は、カナダのピアニスト、鬼才グレン・グールドの1955年の録音が衝撃的な成功を収めて以来、多くのピアニストやチェンバリスト、また、キース・ジャレットらジャズ・ピアニストにも取り上げられ、バッハの代表的な鍵盤楽器の作品としてジャンルを超えて親しまれてきました。

「ゴルトベルク変奏曲」はトリスターノの中でも特別な位置を占めています。彼は2001年5月、10代最後にこの曲を録音し、2002年発売のデビューアルバムに収めました。みずみずしい解釈と透明感のある柔らかな音で紡がれた録音から15年後の昨年9月のドイツ・ケーテンでのバッハ・フェスティバル、11月のスイス・ベルンで行われた演奏は、軽やかでありながらもダイナミズムに溢れ、鮮烈な印象を残しました。彼ならではの繊細なタッチから生まれる粒立ちの美しい音、切れ味のよいリズム、明快なフレージングで、作品の持つ躍動感が次々と目覚めていくのです。

テクノ・アーティストとしての顔も持つトリスターノ独特の現代的な感性と、バロックの様式感が見事に結実した「ゴルトベルク」の演奏は、自由闊達で多彩な表情を楽しめるのが魅力です。今回も、皆さまにきっと爽やかな共感を残すことでしょう。新時代の到来を感じさせる「ゴルトベルク」に、どうぞご期待ください。



みたかジュニア・オーケストラ (MJO)

2016年 夏～秋 活動レポート



♪ジュニアオーケストラ・フェスティバル 2016 in NIIGATA (2016年8月19日～22日)

昨年は、3年に一度、全国の7つのジュニア・オーケストラが集う「ジュニアオーケストラ・フェスティバル2016 in NIIGATA」に出演しました。各団の個別演奏のほか、各団から選抜された約120人のメンバーによるフェスティバル・オーケストラでは、大編成の作品に挑戦しました。

会場に到着すると、1,900席の大ホールを目の前に、みんな興奮気味! 普段演奏している風のホールとはまた違った、良い響きです。初日は、リハーサルと開会式、2日目の交流会では、他団体の団員と共にテーブルを囲み、食事をしながら自己紹介やクイズを楽しみました。本番の演奏は、これまでの長い練習の成果が大いに発揮され、完成度の高い演奏でした。指揮の内藤佳有先生からも「これまで参加したフェスティバルの中でも、最も良い演奏だった」とお褒めの言葉をいただくことができました。他の団体の個性あふれる演奏にも、団員たちは刺激を受けたようです。最後は、フェスティバル・オーケストラの演奏。参加したメンバーも「練習が大変だったけれど楽しかった」「勉強になった」と話してくれました。閉会式では、参加者全員で「ビリーブ」を合唱し、フェスティバルは無事に終了しました。「3年後も絶対に参加したい!」「次回はフェスティバル・オーケストラに出たい!」と話してくれた子も多く、団員にとって、フェスティバルがとても大きな存在だということ改めて実感しました。



♪牟礼コミュニティ・センター 訪問演奏会 (2016年11月6日)

昨年、三鷹市内のコミュニティ・センターで訪問演奏会を開催することになり、記念すべき1回目は、牟礼コミュニティ・センターの体育館で開催しました。幅広い年齢層の方々に演奏を楽しんでもらいたいと、クラシック作品の他に、映画音楽やアニメの主題歌や童謡など全7曲を演奏しました。

MJOの訪問演奏会は、演奏だけではなく、楽器の紹介コーナーもあります。会場のお客さまは、楽器の材質や構造などを興味深く聞いてくださいました。牟礼は、童謡「赤とんぼ」の作詞で知られる三木露風が晩年に過ごした場所です。これにちなみ、最後は会場の皆さまと一緒に「赤とんぼ」を歌いました。197人もの来場者が訪れ、終始和やかな雰囲気でした。「若さみなぎる演奏で元気になった!」「もっと聴いていたかった!」など、皆さまが喜んでくださったことが、MJOにとって何よりの励みです。

MJOの次の演奏会は3月20日に風のホールで開催される「第17回演奏会」です。大好きな音楽を通じて得た経験や、作品から学んだ成果を風のホールに響かせます。渾身の演奏にどうぞご期待ください! 前日にはリハーサル見学会&入団説明会も行いますので、ご興味のある方はぜひ見学にいらしてください。お待ちしております!

(みたかジュニア・オーケストラ担当: 吉田 歩)

公演情報はP.17をご覧ください。

ピックアップ

音楽

音楽

芸術文化センター 風のホール

第4回 山本有三記念館スケッチコンテスト

協力：株式会社まちづくり三鷹 / 特定非営利活動法人みたか都市観光協会

いよいよ1月21日(土)より、三鷹市公会堂さんさん館にて、スケッチコンテストが始まります。今年で第4回目となる本コンテストには、毎年たくさんのご応募をいただいています。四季折々の花と緑に彩られた山本有三記念館の表情をお楽しみください。

*入賞作品は、コンテスト終了後、山本有三記念館にて展示いたします。



第3回山本有三記念館賞「蒼空に映える」石井賢国



第3回市民賞「初秋夕暮れ」三輪修一



第3回審査員賞「夕日をあびる山本有三記念館」澤田桃生



1月21日(土)～1月29日(日)

10:00～18:00 *1/23(月)は休館 入場無料

会場 三鷹市公会堂さんさん館2階 展示室

問合せ 三鷹市山本有三記念館 Tel: 0422-42-6233

■賞(各1点)

山本有三記念館賞、市民賞、審査員特別賞

■審査方法

コンテスト来場者と審査員による投票で入賞作品を決定します。

■審査員

勅使河原 純(美術評論家)

内田 治(公益財団法人三鷹市スポーツと文化財団理事長)

浅倉祐一朗(三鷹市美術ギャラリー副館長)

■審査結果発表

1月末までに入賞者のみに文書にて通知します。

■入賞作品展示

2月7日(火)～3月5日(日)

9:30～17:00 *月曜休館

会場：三鷹市山本有三記念館

三鷹市下連雀2-12-27 Tel: 0422-42-6233

*入賞者には、後日、表彰式の日程をご連絡いたします。

太宰治文学サロン

次回企画展予告

ものの語りの始めかた

2月7日(火)～6月4日(日)

現在、幅広い世代から支持を集める太宰文学。人間固有の心情が見事なまでに吐露され、語りかけてくるかのような独特の文体によって、読み手が共感を抱かされると言われています。しかし、文体やストーリー性だけでなく、太宰は、読み始めの段階で既に読者の心を掴んでいます。

本展では、冒頭部分から小説の世界へと惹き込む太宰文学の魅力に迫ります。

太宰治作品朗読会 各回 18:00開演(18:50終演予定)

第82回 2月17日(金)

出演 林田一高

(文学座所属俳優)

朗読作品 「やんぬる哉」「善蔵を思ふ」



写真提供：文学座

林田さんは舞台を中心に、テレビやCM、アテレコを務めるなど多彩な活躍をされています。2005年には、王子小劇場佐藤佐吉賞で優秀主演男優賞を受賞した実力派です。昨年の太宰治作品朗読会では見事な語りで来場者を魅了しました。林田さんの朗読を是非ご堪能ください。

応募締切：第82回 2月7日(火) 必着 / 第83回 3月7日(火) 必着

定員：各回25名 参加費無料

応募方法：往復はがきに、①ご希望の回、②参加者氏名(2名様まで)、③代表者の住所・電話番号、

④返信用はがきに宛先をご記入の上、下記太宰治文学サロン「第〇〇回朗読会係」宛にお送りください。

*ご応募は各回につき、お1人様1通のみ。 *応募者多数の場合は抽選。

第83回 3月17日(金)

出演 須賀雅子

(TBSアナウンススクール特別講師、元TBSアナウンサー)

朗読作品 「家庭の幸福」



テレビ「3時にあいましよう」「朝のホットライン」「おはようニュース&スポーツ」、ラジオ「大沢悠里のゆうゆうワイド」「山田二郎の土曜だワッショイ」など数々の担当番組のキャスターを務めた須賀雅子さんによる朗読です。

会場 太宰治文学サロン

〒181-0013 三鷹市下連雀3-16-14 グランジャルダン三鷹 1F Tel: 0422-26-9150 入館無料

開館時間：10:00～17:30 休館日：月曜日(月曜日が休日の場合は開館し、休日を除く翌日・翌々日が休館)



星のホール 三鷹市芸術文化センター

CINEMA SPECIAL
男はつらいよ 第19作～第26作 連続上映
 昼の部11:00/夜の部16:00 上映開始
 各回2本立て/昼夜入替制
 ▶P7

1月28日(土) ▶チケット発売中
 第19作『寅次郎と殿様』第20作『寅次郎頑張れ!』

2月25日(土)
 第21作『寅次郎わが道をゆく』第22作『噂の寅次郎』
 ▶チケット発売日 会員1月26日(木)/一般1月27日(金)

3月25日(土)
 第23作『翔んでる寅次郎』第24作『寅次郎春の夢』
 ▶チケット発売日 会員2月23日(木)/一般2月24日(金)

4月15日(土)
 第25作『寅次郎ハイビスカスの花』第26作『寅次郎かもめ歌』
 ▶チケット発売日 会員3月23日(木)/一般3月24日(金)

柳家花緑 独演会 託児あり
 3月18日(土) 夜の部18:00開演 ※星の部完売
 ▶チケット発売中 会員2,700円/一般3,000円
 ▶全席指定 学生2,000円/高校生以下1,000円
 ※星の部と夜の部が、同じ演目になるか違う演目になるかは未定です。

瀧川鯉昇 独演会 託児あり
 3月26日(日) 14:00開演
 ▶チケット発売中 会員2,700円/一般3,000円
 ▶全席指定 学生2,000円/高校生以下1,000円

柳亭市馬 独演会 託児あり
 4月16日(日) 14:00開演
 ▶チケット発売日 会員2月4日(土)/一般2月8日(水)
 ▶全席指定 会員2,700円/一般3,000円
 学生2,000円/高校生以下1,000円

桃月庵白酒 三遊亭兼好 二人会
 4月22日(土) 14:00開演 託児あり
 ▶チケット発売日 会員2月4日(土)/一般2月8日(水)
 ▶全席指定 会員2,700円/一般3,000円
 学生2,000円/高校生以下1,000円
 ▶P9

春風亭一之輔 古今亭文菊 二人会
 5月14日(日) 14:00開演 託児あり
 ▶チケット発売日 会員2月5日(日)/一般2月9日(木)
 ▶全席指定 会員2,700円/一般3,000円
 学生2,000円/高校生以下1,000円
 ▶P10

桂宮治 神田松之丞 二人会
 6月11日(日) 14:00開演 託児あり
 ▶チケット発売日 会員2月5日(日)/一般2月9日(木)
 ▶全席指定 会員2,250円/一般2,500円
 学生1,500円/高校生以下1,000円
 ▶P10

風のホール 三鷹市芸術文化センター

小学校訪問演奏アーティストによる ▶チケット発売中
ニューイヤー・ファミリーコンサート
「くるみ割り人形」

1月14日(土) 14:00 ※座席を必要としない2歳以下は無料
赤ちゃんからのクラシック ※残席僅少
 ▶全席指定 会員1,000円/一般1,200円
 ▶0歳～入場可 3歳～小学生500円

1月15日(日) 15:00開演
小学生からのクラシック
 ▶全席指定 会員1,600円/一般1,800円
 中高生900円/小学生500円

イザベル・ファウスト 託児あり
 3月4日(土) 第1部15:00/第2部17:30開演
 ▶チケット発売中 各部1回券:
 ▶全席指定 会員S席4,500円・A席3,600円
 一般S席5,000円・A席4,000円
 ※通し券完売
 ※U-23(23歳以下)2,500円

トウキョウ・ミタカ・フィルハーモニア
 第74回定期演奏会
 3月11日(土) 15:00開演 託児あり
 ※14:30～みたかジュニア・オーケストラのプレ・コンサート
 ▶チケット発売中 会員S席4,500円・A席3,600円
 ▶全席指定 一般S席5,000円・A席4,000円
 ※U-23(23歳以下)3,000円
 ●三鷹市内在住または在学の
 小学生から高校生1,500円
 会員・一般券ご購入者と同席の場合のみ適用
 (電話予約のみ)

リハーサル見学会 (定員:60人)
 3月10日(金) 14:00～15:00 (要電話予約)
 ※本公演のチケットをお持ちの方は無料。
 見学会のみの場合は500円(当日現金精算)。

みたかジュニア・オーケストラ 第17回演奏会
 3月20日(月・祝) 14:00開演 託児あり
 ▶P14
 ▶チケット発売中 会員720円/一般(小学生以上)800円
 ▶全席指定 未就学児(4歳以上)500円
 ▶4歳～入場可

リハーサル見学会 & 入団説明会 (定員:30人)
 3月19日(日) 14:00～16:00 (要電話予約)
 Tel: 0422-29-9868 (ジュニア・オーケストラ担当)

アヴィ・アヴィタル(マンドリン)
 & ヴェニス・バロック・オーケストラ
 4月23日(日) 14:00開演 託児あり
 ▶チケット発売中 会員S席5,400円・A席4,500円
 ▶全席指定 一般S席6,000円・A席5,000円
 ※U-23(23歳以下)3,500円

ジュリアーノ・カルミニョーラ(バロック・ヴァイオリン)
 & コンチェルト・ケルン
 5月14日(日) 14:00開演 託児あり
 ▶チケット発売中 会員S席6,300円・A席5,400円
 ▶全席指定 一般S席7,000円・A席6,000円
 ※U-23(23歳以下)4,000円

共催事業
オーケストラ・リベラ・クラシカ
 6月24日(土) 15:00開演
 ▶P12 ▶チケット発売日 会員・一般3月9日(木)
 ▶全席指定 会員 A席シングル4,900円
 A席複数*1席当たり4,500円
 B席シングル4,100円
 B席複数*1席当たり4,000円
 一般 A席シングル6,000円
 A席複数*1席当たり5,500円
 B席シングル5,000円
 B席複数*1席当たり4,500円
 U/U席2,000円(中学生以上25歳以下は
 エリア限定・70歳以上はどのエリアでも可)
 子供券*2,000円
 ※子供券:小学生以下
 (会員・一般のご購入者と同席の場合のみ)
 ※複数券:同時に2枚以上購入の場合、
 取扱いは窓口販売・電話予約のみ

フランチェスコ・トリスターノ
 ピアノ・リサイタル
 J.S. バッハ:ゴルトベルク変奏曲
 ▶P13
 7月9日(日) 14:00開演 託児あり
 ▶チケット発売日 会員1月26日(木)/一般2月2日(木)
 ▶全席指定 会員S席4,050円・A席3,150円
 一般S席4,500円・A席3,500円
 ※U-23(23歳以下)2,500円

前号MARCL132の10ページに掲載の『ニューイヤー・ファミリーコンサート』管楽器体験ワークショップにおいて
 誤りがございました。ご迷惑をおかけしましたことを深くお詫びし、訂正させていただきます。
 訂正内容 【誤】西尾郁子(ヴァイオリン)、藤田 旬(チェロ) → 【正】西尾郁子(クラリネット)、藤田 旬(ファゴット)
 【誤】B1F 音楽練習室 → 【正】B2F 音楽練習室

公演事業では特に表示のない場合、未就学児のご入場をお断りしています。
 託児あり このマークがついている公演には託児サービスがあります。
 料金:500円 対象:1歳～未就学児 定員:10名 お申込み:各公演の2週間前までに芸術文化センターへ

*U-23利用の中学生以上の方は、公演当日に身分証明書をご持参ください。 *学生券をお求めの方は公演当日に学生証をご持参ください。
 *公演内容等は変更になる場合もございます。 *公演中止の場合を除き一度購入されたチケットの払い戻し・交換はできません。
 *営利を目的としたチケットの転売は固くお断りいたします。 *情報誌の作成中にチケットが完売となる場合もございますので、ご了承ください。
 *次号のMARCL134は4月初旬発行予定です。

三鷹市公会堂 光のホール

東西狂言の会
 5月3日(水・祝) 14:00開演 託児あり
 ▶チケット発売日 会員1月22日(日)/一般1月29日(日)
 ▶全席指定 会員3,600円/一般4,000円
 高校生以下2,000円

完売御礼
 星のホール 三鷹市芸術文化センター
 新春初笑い寄席 林家たい平 独演会 1月29日(日)
 柳家喬太郎 みたか勉強会 2月18日(土)
 立川志らく 独演会 3月11日(土)
 柳家権太楼 独演会 3月12日(日)
 三鷹市公会堂
 春風亭小朝 独演会 1月21日(土)
 柳家小三治 一門会 3月4日(土)

協力事業

ICU宗教音楽センター公開講演会 & 演奏
儒教・道教と琴
 1月20日(金) 18:00～19:30
 講師 武内恵美子(京都市立芸大准教授)
 ▶入場無料 予約不要 *未就学児は入場不可
 会場: 国際基督教大学宗教音楽センター(大学本館421号室)
 三鷹市大沢3-10-2
 *JR中央線三鷹駅または武蔵境駅南口バス「ICU行き」終点下車
 お問合せ: ICU宗教音楽センター Tel: 0422-33-3330
 E-mail: smc@icu.ac.jp
 HP: http://subsites.icu.ac.jp/smc/
 Facebook: https://www.facebook.com/icu.smc



武内恵美子